



PRESS RELEASE

2005年6月20日

ロボットのワールドカップで、大阪の夏が熱く燃え上がる！ 「ロボカップ2005大阪世界大会」

～大会に先立ち、6月27日に東京で記者会見&ビジネスフォーラムを開催！～



Team Osaka "VisiON NEXTA"

自らの人工知能で判断・行動する「自律型ロボット」の世界大会である、「ロボカップ世界大会」が、大阪市のインテックス大阪で7月13日(水)から7日間の日程で開催されます。今年で9回目、3年ぶりの日本での開催となる本大会には、過去最大の世界35ヶ国419チーム/約2000人が参加、最新鋭の自律型ロボットによるサッカー競技や、レスキューなどの種目でその技を競います。日本からは、昨年のポルトガル大会でヒューマノイドリーグに初出場・初優勝の地元 Team Osakaをはじめ、国内最先端の研究機関・大学から43チーム(ジュニアチームを除く)が参加予定です。

ロボカップとは

「ロボカップ」は「西暦2050年までに、人間のサッカー世界チャンピオンチームに勝てるロボットチームを作る」という、わかりやすく夢のある目標を掲げて、真に人間社会に役立つロボット関連技術の育成とを目的とした国際プロジェクトです。1990年代半ばに日本の人工知能学者たちによって提唱されたこのプロジェクトは、世界各地の研究機関に広く採用され、いまや世界40カ国4000人以上の研究者が集うプロジェクトに成長しました。大会だけでなく、併設して行われるシンポジウムを通して培われた技術は、人命救助や科学教育などの分野にも応用されています。

開催地・大阪市の挑戦

ロボット・人工知能の世界的中心地を目指す大阪市では、このロボカップ世界大会の誘致を基盤に、ロボット・ベンチャー企業や、複数の産官学共同プロジェクトを数年前から積極的に支援してきました。開催地・大阪市にとって、本大会はこれまでの取り組みの集大成の1つであり、今後のロボット関連プロジェクトの発展・拡大の起爆剤として位置づけられています。

ロボカップ2005大阪世界大会記念「記者会見&ロボット・ビジネスフォーラム in 東京」

大会に先立ち、6月27日(月)、ロボカップ2005大阪世界大会記念「記者会見&ロボット・ビジネスフォーラム in 東京」及び懇親会を東京にて開催致します。ソニー株式会社をはじめとする長年ロボカップを支援してきたパートナー企業の取り組みや、大阪市によるロボカップの産業応用例・ビジネス展開などの紹介と共に、ヒューマノイドリーグ連覇を狙う Team Osaka の VisiON NEXTA など最新ロボットによるデモンストレーションを行います。単なるロボット競技大会に留まらない、ロボカップの奥深さと価値を実体験する機会として、御来場をお待ちしております。



ロボカップ 2005 大阪世界大会記念「記者会見&ロボット・ビジネスフォーラム in 東京」

日時：平成 17 年 6 月 27 日(月) 16:00-17:30 / 17:30-19:00 (懇親会)

場所：東京全日空ホテル 地下1階宴会場「Glory」/「Prism」(懇親会/立食)

東京都港区赤坂 1 - 12 - 33 tel 03 - 3505 - 1111

内容：・「ロボカップの目指すもの」 浅田 稔 ロボカップ国際委員会プレジデント

(予定)・「2005 大阪大会の見所」 松原 仁 ロボカップ日本委員会委員長

・「大阪のロボット長期戦略」 石黒 周 ロボカップ国際委員会チーフビジネスオフィサー

・パートナー企業(日本 SGI 株式会社/ソニー株式会社/株式会社イーケイジャパン)による
協賛コンセプト/ロボット産業応用事例紹介

・ロボットデモンストレーション Team Osaka ほか

大会取材申込み

記者会見及び取材申込みは、下記担当までお問い合わせください。

英文でのご案内は、ウェブサイト<http://www.robocup2005.org/news/>でご確認いただけます。

プレスプレビュー

7月12日(火)に、大阪市インテックス大阪にて、大会のプレスプレビューを予定しています。協議会直前の準備練習風景をプレス担当者に公開します。詳細は、下記担当までお問い合わせください。

お問い合わせ/取材申し込み

[取材申し込み・お問い合わせ]

ロボカップ 2005 大阪開催委員会

担当: 寺原/加味

Tel 06-6612-1666 Fax: 06-6612-8585

E-mail: press@robocup2005.jp

URL: <http://www.robocup2005.org>

[お問い合わせ]

ロボカップ国際委員会

担当: 松岡

Tel: 03-5468-1661 Fax: 03-5468-1664

E-mail: pr@robocup.org

URL: <http://www.robocup.org>



RoboCup 2005 OSAKA

ロボカップとは

「西暦2050年、サッカーの世界チャンピオンチームに勝てる、自律型ロボットのチームを作る」という目標を掲げるロボカップ。RoboCupは、ロボット工学と人工知能の融合、発展のために自律移動ロボットによるサッカーを題材として日本の研究者らによって提唱されました。現在では、サッカーだけでなく、大規模災害へのロボットの応用としてロボカップレスキュー、次世代の技術の担い手を育てるロボカップジュニアなどの活動が行われています。

■ ロボカップの競技

ロボカップの競技は大きく3つのカテゴリー（サッカー、レスキュー、ジュニア）に分かれています。

1 ロボカップサッカー

ロボカップサッカーの試合は、人間のサッカーと同じく自分で考えて動く自律型ロボットを使って行われます。ロボットの大きさや採用する技術等により5つのリーグに分かれています。



シミュレーションリーグ

ロボットの実機を使うことなく、コンピューター上の仮想フィールドで、それぞれ異なった人工知能プログラミングされた11対11のバーチャルロボットが5分ハーフのサッカーを行う。ロボカップ最古参のリーグ。2次元、3次元フィールドでの競技のほか、コーチの技を競う競技もある。

大阪大会では、人間とシミュレーションプレイヤーで競うデモンストレーションも予定されている。



小型ロボットリーグ (f-180)

直径18cm以内のロボット5台1チームが、約5m x 3.4mの大きさのフィールド上で、オレンジ色のゴルフボールを使って試合をするリーグ。試合時間は10分ハーフ。フィールド全体を見渡すカメラ、あるいはロボット搭載カメラからの視覚情報をベースに、ロボット同士がいかにかシステムチックなチームプレイを構築していくかが見所。人間のサッカーを凌ぐスピード感とロボットの状況判断力に驚かされる。



中型ロボットリーグ (f-2000)

直径50cm以内のロボット4台が、12m x 8m大のフィールドで、オレンジ色のボールを追う競技。試合時間は10分ハーフ。多くのチームが360度見渡せるカメラを搭載、センサーで自分とボールの位置をすばやく判断して動く。迫力ある攻防が見所。



4足ロボットリーグ

ソニーのAIBO4台1チームのサッカーリーグ。オレンジ色のボールを使い、フィールドは今年から4mx6mと広がった。試合時間は10分ハーフ。共通プラットフォームを採用しているため、各チームのロボットプログラミングの優劣で勝敗が左右される。鼻の位置に取りつけられたカメラで、味方やボールの色を識別するために盛んに頭を振るしぐさがかわいいと観客に人気のあるリーグ。



ヒューマノイドリーグ

2002年より正式種目となった自律型2足歩行ロボットのリーグ。PKや2対2での競技や、独自の機能を披露する「フリースタイル」競技が行われる。総合優勝者にはルイ・ヴィトン・ヒューマノイドカップが授与される。





RoboCup 2005 OSAKA

2 ロボカップレスキュー

ロボカップサッカーで培われた技術を災害救助に利用しようというプロジェクト。地震などの大規模災害時を模擬して災害時の救助戦略を発展させようというシミュレーションと、現場に駆けつける自律型ロボットの開発を推進する活動です。ロボカップレスキューの目的は、現場で活躍する探索救助ロボットの開発だけでなく、災害時の情報インフラや意思決定支援システム、救助戦略の評価システムなど災害現場で利用できる統括的なシステム構築し備えること。実験・評価の場としての競技会を活用しつつ、いわば「国境なき救助ロボット隊」の結成を目指しています。

レスキューシミュレーションリーグ

都市での災害発生を想定して、サーバー上にてバーチャルロボットが災害救助活動を行う競技。



レスキューロボットリーグ

仮説の災害現場にて、レスキューロボットの実機が、災害救助活動のスピードと精度を競い合う競技。参加チームには、すでに実際の災害現場での人命救助に活躍しているロボットもいます。



3 ロボカップジュニア

教育とホームエンターテイメント向けのロボカップ。初めてロボットに触れる小学生から趣味でロボットを作る人まで幅広い層を対象に、簡単にロボカップの活動に参加できるようにと始められました。競技会を目指して仲間とチームを組んで準備をするというプロジェクト志向のカリキュラムを通して、理論や技術をより深く理解し、楽しむことができるように企画されています。教材開発や、科学技術教育手法の研究を推進することも、ロボカップジュニアの重要な活動です。

サッカーチャレンジ

小学生から参加できるロボットサッカー競技。1対1と2対2の競技に分かれ、ロボット単体の性能や、チームプレイを競う。



レスキューチャレンジ

ロボットに決められたコースを辿らせて、早く確実に被災者を発見していくという競技。センサー等を駆使したロボットが登場する。



ダンスチャレンジ

子供達が製作したロボットによる自由演技ベースのダンスパフォーマンス競技。ロボットの動きだけでなく、全体のプレゼンテーションも評価される。





RoboCup 2005 OSAKA

ロボカップ 2005 大阪世界大会概要

- 名 称 RoboCup 2005 OSAKA
ロボカップ 2005 大阪世界大会
- 期 間 平成 17 年 7 月 13 日 (水) から 19 日 (火)
※但し一般公開は 17 日 (日) まで
- 場 所 インテックス大阪 3・4・5 号館 (大阪市住之江区)
http://www.intex-osaka.com/index_e.html
- 主 催 ロボカップ国際委員会／ロボカップ日本委員会／
ロボカップ大阪大会開催委員会
- 共 催 社団法人日本ロボット学会、社団法人人工知能学会、
社団法人計測自動制御学会、米国人工知能学会
- 後 援 総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、
- 特別協賛 科学技術振興機構
- 協賛企業
 - ・ロボカップパートナー
日本 SGI 株式会社、
ソニー株式会社、
株式会社イーケイジャパン
 - ・ロボカップ 2005 大阪 オフィシャルエアライン
全日本空輸株式会社
 - ・ロボカップ 2005 大阪 オフィシャルバンク
株式会社りそな銀行
 - ・ロボカップ 2005 大阪 オフィシャルプリンター
凸版印刷株式会社
 - ・ロボカップ 2005 大阪 オフィシャルタイマー
シチズン時計株式会社
 - ・ロボカップ 2005 大阪 オフィシャルパートナー
西日本電信電話株式会社
 - ・スポンサー企業
ヴイストン株式会社、
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西、
エフビットコミュニケーションズ株式会社、
大阪ガス株式会社、
オムロン株式会社、
株式会社オリエントコーポレーション、
株式会社近鉄百貨店、
関西電力株式会社、
サントリー株式会社、
ダイキン工業株式会社、
ダイワボウ情報システム株式会社、
株式会社竹中工務店、
東光株式会社、
西松建設株式会社、
日本通運株式会社、
ハイアット・リージェンシー・オオカ株式会社、
富士通株式会社、
松下電器産業株式会社、
八洲電業株式会社





RoboCup 2005 OSAKA



参加チーム (as of 2005.April 20th)

■参加チーム数・国数： **419チーム (35カ国・地域)**

リーグ	参加チーム数	国・地域
ロボカップサッカー	157	25
ヒューマノイドリーグ	22	9
小型ロボットリーグ	20	12
中型ロボットリーグ	24	12
4足ロボットリーグ	24	13
シミュレーションリーグ	67	11
ロボカップレスキュー	51	15
レスキューロボットリーグ	25	11
レスキューシミュレーションリーグ	26	9
ロボカップジュニア	211	22
合計	419	35

■参加国・地域の内訳:

アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、イラン、インド、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、クウェート(*)、サウジアラビア(*)、シンガポール、スウェーデン、スペイン、スロバキア、タイ、中国、チリ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ナイジェリア(*)、日本、ニュージーランド、フィンランド、ブラジル、フランス、ポルトガル、メキシコ、ルーマニア、ロシア、台湾 (*印は初参加)



会場とスケジュール

競技： 13日(水)~17日(日) インテックス大阪 3, 4, 5号館

シンポジウム：18日(月)、19日(火) インテックス大阪国際会議ホール(登録者のみ)

併設イベント“ROBOTREX 2005”: 13日(水)~17日(日) インテックス大阪 3, 4, 5号館

<http://www.robocup2005.jp/robotrex/>

日時	ロボカップ	ロボカップジュニア	一般公開	ROBOTREX
7月11日(月)	セットアップ		プレスプレビュー	セットアップ
12日(火)				
13日(水)	予選	セットアップ	一般公開 10:00-17:00	展示 10:00-17:00
14日(木)		予選		
15日(金)		予選		
16日(土)	準々決勝・準決勝	準決勝・決勝		
17日(日)	決勝他			
18日(月)	シンポジウム			
19日(火)				



入場券販売

前売券1,000円(当日券1,200円・中学生以下無料)。

主要プレイガイド・コンビニエンスストア他にて発売中。



お問い合わせ:

≪事務局≫ロボカップ大阪大会開催委員会 広報担当 寺原・加味
 〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102
 TEL:06-6612-1666 FAX:06-6612-8585
 E-mail press@robocup2005.jp
 公式 HP www.robocup2005.org 日本語 HP www.robocup2005.jp